※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　農業科

教科	農業	科目	実践農業	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次で学習した農業と環境を発展させた応用科目である。栽培実習を継続し、１年目と比較して分析を行い、食料生産の必要性や、栽培技術の向上を目的とする。また農業が抱える問題の理解と解決に向けた思考力を備えることを目的とする。

２　学習の到達目標

・農業の分野では野菜や作物の栽培について、播種から収穫、加工までを通して学ぶことで、栽培技術や利用方法を習得する。さらに季節によってさまざまな種類の野菜を栽培することで特徴の違いなどを理解する。
・栽培管理や環境調査を行うために課題を設定し、達成に向けて自ら取り組むことで思考力や分析力を養う。
・環境の分野では身近なものから地球規模に至るまでの環境問題を理解し、身近に存在する課題解決に向けて考え、取り組むことができるようになる。
・生態系における生物のかかわりを学び、生物多様性や生命の大切さを理解する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	農業に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、それらの農業における意義や役割を理解し、技術を身に付け、課題解決に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	農業に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、課題を適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	農業について興味・関心を持ち、課題の探究に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	栽培作物の生産	野菜の栽培特性 栽培の技術 農業生産の実際 (果菜類)	a:農業生産に関する諸資料を収集し有用な情報を選択し、栽培作物の生産に関する仕組みについて理解し、応用できる技術を身に付けている b:農業生産における諸課題を発見し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現している c:農業生産について興味・関心を持ち、諸問題を解決するような態度を身に付けている	レポート 提出ノート	観察 記録 スケッチ レポート 提出ノート	実習態度 振返りシート レポート
２学期	農業生産の基礎 栽培作物の各論	栽培の環境 農業生産の実際 (葉・茎・根菜類)	a:栽培環境に関する諸資料を収集し有用な情報を選択し、栽培環境の仕組みについて理解し、応用できる技術を身に付けている b:栽培環境における諸課題を発見し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現している c:農業生産について興味・関心を持ち、検定等の取得に向けて、意欲的に取り組んでいる	レポート 提出ノート	記録 レポート 提出ノート	実習態度 振返りシート レポート
３学期	環境問題	地球温暖化 身近な環境と保全	a:校内の環境調査を行い、生物の種類を分析することができ、環境保全に必要なことや、生物との関わりを理解している b:環境問題が起こっている原因を考え、解決するための意見を持っている c:環境問題を身近に捉え、興味関心を持っている	レポート 提出ノート	記録 レポート 提出ノート	実習態度 振返りシート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度